

(概要版)

# 伝統的な言語文化に親しむ児童を 育てる国語科指導の工夫

—楽しい授業づくりを目指した指導の手引きの作成と活用を通して—

長期研修員 宮一 美樹

## 新学習指導要領

### 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

新設

小学校学習指導要領解説 国語編

○伝統的な言語文化に低学年から触れ、生涯にわたって親しむ態度の育成を重視

### 現状

教師

中学校との違いは何？



えっ！本当！？  
小学校で古典？

親しむとはどんな姿なの？

児童



昔話はあまり  
読まないなあ。



古典は難しそう  
だなあ。

### 研究のねらい

楽しい授業づくりができるような指導の手引きを作成する

### 研究構想図

#### 伝統的な言語文化に親しむ児童

- ・昔の人が書いたものを古典というのだな。・古典の授業は楽しい。
- ・昔話もおもしろそうだ、読んでみよう。
- ・自分でもことわざを使ったり、俳句を作ったりしてみよう。

教材への興味・  
関心が高まる

わくわくの  
出会いの活動

古文に慣れリズムよ  
く読めるようになる

いろいろな  
音読活動

主体的に活動すること  
で古典が好きになる

いきいきと  
表現する活動

楽しい授業づくりを目指した指導の手引き

児童の実態

- ・昔話はあまり読まない。
- ・古典は難しいと思っている。



## 研究の内容

### 指導の手引き作成の基本方針

☆いろいろな教材で使える手引きにしました。

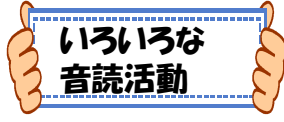


わくわくの出会いの活動



教材への興味・関心が高まる

絵本やビデオ、写真などの視聴覚教材、実物等の活用

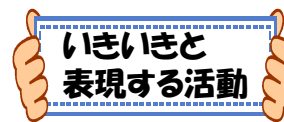


いろいろな音読活動



古文に慣れリズムよく読めるようになる

追い読み、句点読み、役割読み、暗唱、交互読み  
(現代語訳の活用)



いきいきと表現する活動



主体的に活動することで古典が好きになる

昔話を紹介する  
俳句を作る、随筆を書く

### 指導の手引き「楽しい授業づくり」の目次

<はじめに>

○楽しい授業づくり 3つのポイントについて ○いろいろな音読活動といきいきと表現する活動を織り交ぜた指導について

I 学習系統表

II 伝統的な言語文化の指導のポイント

1昔話 2神話・伝承 3俳句 4短歌 5ことわざ・慣用句・故事成語 6古文 7漢文 8近代以降の文語調の文章  
9古典について解説した文章

III 単元の指導計画・略案・板書計画・ワークシート・資料

1 昔話

第1学年 昔話を楽しく読もう  
第2学年 むかしむかしのお話を集めよう  
第2学年 音読劇をしよう

教材「おはなしのくに」  
教材「かさこじぞう」  
教材「いなばのしろうさぎ」

2 神話・伝承

第3学年 俳句を作ろう

教材「雪とけて村いっぱいの子どもかな」ほか

3 俳句

4 短歌

第6学年 連歌の会をしよう  
第3学年 かるたで遊ぼう

教材「小倉百人一首」「万葉集」「サラダ記念日」  
教材「いろはかるた」

5 ことわざ・慣用句・故事成語

第3学年 慣用句を調べよう  
第4学年 ことわざを紹介しよう  
第4学年 楽しい言葉、故事成語  
第5学年 昔の人のものの見方・感じ方を知ろう  
第5学年 わたしも随筆家  
第6学年 古文を読もう

教材「慣用句に親しもう」  
教材「ことわざかるた」  
教材「蛇足」「五十歩百歩」  
教材「竹取物語」  
教材「枕草子」  
教材「平家物語」

6 古文

7 漢文

第5学年 論語を読もう  
第6学年 主人公はどんな人？

教材「論語」  
教材「坊っちゃん」「吾輩は猫である」「三四郎」

8 近代以降の文語調の文章

9 古典について解説した文章

第6学年 狂言や落語を鑑賞しよう

教材 狂言「附子」 落語「寿限無」

伝統的な言語文化に親しむ児童を育てるための授業づくりのポイント  
をまとめました。

## 伝統的な言語文化に親しむために

5. 6年

古文



導入

### 【わくわくの出会いの活動】

- ・ビデオや写真、絵や実物などを用いて、教材への興味・関心を高める。
- ・クイズ形式(下記 例参照)などで、古文の特色、貴族や武士の生活 や考え方などを紹介し、楽しみながらその時代の特色に触れることができるようにする。

### 平安時代クイズ

- 1 平安時代に美人といわれた女の人の顔はどちらでしょう？  
A 目がぱっちり、鼻も高い小顔  
B 目がほそく、ほっぺぷっくりの大きな顔      答え B
- 2 平安時代に好きな人に思いを伝えるとき、どんな方法をつかったでしょう？  
A プレゼントをわたした。  
B 歌をおくった。  
C 無理やり、好きな人の家におしかけた。      答え B

展開

### 【いろいろな音読活動】

- ・いろいろな音読活動を取り入れ、古典のリズムや日本語の美しい響きを感じ取ることができるようにする。
- ・現代語訳を有効に活用し、あらすじをつかむことができるようにする。

### 【いきいきと表現する活動】

- ・作者や登場人物に親しみがもてるような活動を取り入れ、古典を身近に感じられるようにする。

まとめ

### 【いろいろな音読活動】

- ・好きな場面を暗唱したり、グループで役割読みをしたりして、楽しく原文に親しむことができるようにする。

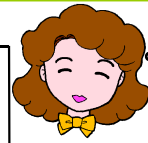
### 【いきいきと表現する活動】

- ・お気に入りの人物紹介をしたり、随筆を書いたりする活動を取り入れ、友達同士で考えを伝え合い、いろいろな見方や考え方に気付くことができるようにする。
- ・伝統文化が現代の生活にも生きていることを実感し、古典の世界と自分たちの住む現代の世界のつながりに気付くような学習活動を行っていきけるようにする。

常時活動

### 【いろいろな音読活動】

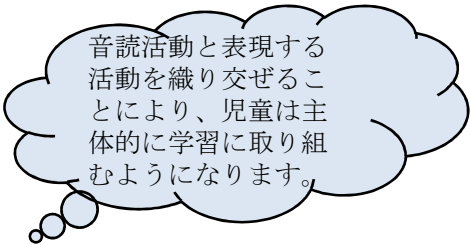
- ・朝や帰りの会で、短い原文を読む活動を取り入れ、自然に暗唱できるようにする。
- ・学級文庫や学校図書館に古典コーナーを作り、日常的に親しめるようにする。



教材との出会いは、とても大切です！



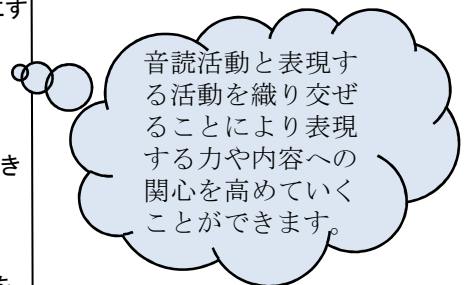
○絵や写真を活用するとよいと思います。



音読活動と表現する活動を織り交ぜることにより、児童は主体的に学習に取り組むようになります。



○どんなふうに読もうかグループで話し合っています。



音読活動と表現する活動を織り交ぜることにより表現する力や内容への関心を高めていくことができます。



○学校図書館に古典コーナーを作ってもらいました。

## 実践授業

第5学年  
単元 わたしも随筆家 教材『枕草子』

### 【わくわくの出会いの活動】

映像や漫画で出会う



『枕草子』の学習では、四季折々の情景の美しさを感じ取ることが大切です。そこで、映像を見ることにより、それぞれの季節の様子を思い出しました。また、漫画を使って、楽しく平安文化や随筆に親しめるようにしました。

### 【いろいろな音読活動】

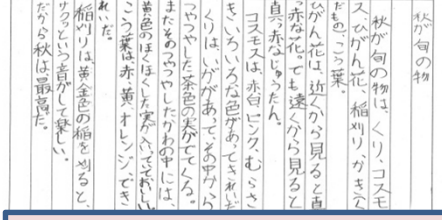
追い読み、句点読み、役割読みなど



『枕草子』の自分が好きな段を選んで原文の音読に挑戦しました。同じ段を選んだ児童同士で読み方を話し合い、発表しました。児童は、「難しい文を読めた！」という達成感を味わうことができました。

### 【いきいきと表現する活動】

随筆を書く、音読劇を発表するなど



自分でテーマを決め、随筆を書きました。「季節に関するもの」「1年間の思い出」「趣味」「好きな食べ物」などが多かったです。最後に全員の作品を1冊にまとめました。



## 授業実践を終えて

実践の前は37人中26人の児童が、古文は難しそうと答えていました。それが、実践を終えたときには、全員の児童が「古文は楽しかった」と答えました。なぜ楽しかったのでしょうか？



平安時代についていろいろなことが分かった！



原文を暗唱できた！



はじめて随筆を読んだ。これからも随筆を書いてみたい！

このような児童の変容から

わくわくの出会いの活動

いろいろな音読活動

いきいきと表現する活動

を織り交ぜて作成した指導の手引きは、伝統的な言語文化に親しむ児童を育てるために有効に活用できることが明らかになりました。

## 研究のまとめ

### <成果>

- 教材との出会いを工夫し、音読活動と表現する活動を織り交ぜた学習を行った結果、児童は楽しく学習を進め、古典に親しむことができた。
- 伝統的な言語文化の学習方法の基本的な形を明確にすることができ、いろいろな教材で活用できる手引きとなった。

### <課題>

- 参考図書や写真、映像資料等、児童の関心を高める教材が必要になってくる。児童が十分に活動できる教材や資料を整えることは差し迫った課題といえる。
- より汎用性のある手引きにするために、他校を含めた多くの先生方に活用していただきながら、さらに修正を加えてよりよい手引きにしていく必要がある。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター  
担当係：義務教育研究係

0270-26-9213 (直通)